

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第18号 R5.1.27(金)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「花が咲く学校」

年が明けて、正門前のスロープのアジサイの葉が全部落ちて茎だけになりました。昨年度寄付していただいて植えたアジサイです。枯れたのかな？大丈夫かな？と思ってよく見てみると、ちゃんと新芽がふっくらしていました。ふと横を見ると桜のつぼみも段々大きくなってきました。どれだけ寒くても、次の準備をしている植物にちょっと感動してしまいました。春にはまた新しい葉が出て、花をつけてくれるでしょう。とても楽しみです。

12月の「花植えの会」で植えていただいた花壇やアSEMBリの苗はしっかり根をつけました。春にはチューリップやスマレやサクラソウの花々がみんなの心を癒やしてくれると思います。また、冬場の花が少ない時期でもボランテアの方々は玄関や廊下にお花を生けに来てくださいます。お陰で学校はいつも花を絶やさず、明るい雰囲気になっています。

「歌声の響く学校」

三中における合唱コンクールの開催は3年ぶりです。いよいよ1、2年生が準備を始めました。私が以前三中に勤めていた頃は、毎年学級の他に学年合唱も実施していました。それはそれは迫力のある合唱で、感動のあまり涙が出そうになりました。

今年は学級ごとの合唱のみになりますが、どのクラスも趣向を凝らし、今年の学級集団の絵まとめの行事として取り組んでいます。合唱はみんなの声をしっかり聞き、バランスを考えて自分の声を重ねていくため、心が一つにならなければいいものにはなりません。久しぶりに響く歌声、本番が楽しみです。生徒が帰った後の学校には伴奏の練習をする先生のピアノの音が響いています。

「着こなしセミナー」

1月18日(水)に1年生対象に、制服業者さんによる「着こなしセミナー」が開催されました。着ている人の所属や立場を示す「制服」の正しい着こなし方を教授していただきました。アメリカでも最近是不審者と学生を見分け、犯罪を防止するために制服が導入され、事件が減ったのだそうです。「制服」にはいろいろな役割があるのだと改めて感心しました。「制服」は普段の学校生活だけでなく、冠婚葬祭などでも着ることができる万能服です。本校の制服は市内で一番先にブレザーになり、ポロシャツが採用されており、動きやすく、洗濯しやすく、寒暖の調節がしやすくなりました。スカートでもズボンでも選択でき、今の上着はボタンがワンタッチで左右どちらにでも付け替えられる男女兼用になっています。以前の詰襟・セーラー服時代から考えると随分進化したものです。セミナーでは「美しく見える制服の丈」や「人の印象は6秒で決まる」なども教えていただき、面接練習真ただ中の3年生が聞いてもよかったかもしれません。

「挨拶のマナー」

毎朝門で挨拶していると、生徒の様子に傾向があることに気づきます。一番挨拶の声が出るのは水曜日や木曜日、週明けは反応が悪いようです。寒くなっても早めに登校する生徒は薄着が多く、時間ギリギリに登校する子のほうが厚着の人が多く感じます。ちゃんと調査したら面白いデータが得られるかもしれません。

最近、寒さのあまり、ポケットに手を入れて登校する生徒も多くなってきました。危険なので手袋を着用して欲しいところですが、これがマナーとして良くないということが分かっているのか、きちんとポケットから手を出して挨拶してくれる子もいます。素晴らしいですね。このように中学生のうちに、社会人としてのマナーを身につけてくれると嬉しいなと思いました。